



医療法人 社団輔仁会

# 太田川病院

## 訪問看護ステーション通信

令和元年秋号

広島市東区戸坂山根一丁目24番20号

TEL: 082-220-1551 FAX: 082-220-5551

いまだ暑さが残る今日この頃、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。  
また、平素は格別のご高配を承り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年末に厚生労働省からACPを「人生会議」という愛称が発表されましたが、当ステーションにおきましても利用者さまとその家族と一緒に「人生会議」を行う場面があります。ACP「人生会議」は、結果ではなく、そのプロセスが大事なものであり、私たちもそのプロセスに関わることで看護師としてまた人として成長させていただくものととらえております。今後とも、地域の皆さまの大事なプロセスに関わり支えられることのできる事を願い、当ステーションでおこなった人生会議を紹介させていただきます。

### がん末期の方Aさん

24時間の中心静脈栄養点滴を行い麻薬での疼痛管理をしている 同居の友人が介護中  
本人：家に居たいけど友人に迷惑をかけるから  
最期は病院  
友人：最期まで家でみてあげたい



友人から最期まで家で見てあげると言われ本人  
家で過ごしたいと望まれる  
\* 外来通院から在宅往診医へ変更

難病で嚥下機能低下、低酸素がみられたBさん  
夫も寝たきり要介護状態で娘がBさん夫婦を介護している

本人：娘に迷惑をかけたくない 食べられなくなったら点滴や胃瘻もしい 呼吸がむつかしくなったらNPPVはするけどそれ以上はやらない  
娘：(Bさん夫婦) 2人の介護はしんどい



本人のACP聴取時、自分の思いを娘は分かってくれているというが、病気について話し合いはされていない 思いの相違があり、今後について娘と一緒に話し合いをすることになる

### 本人の思い



### 家族の思い



本人の思いを家族とその人を支えるすべての人で支援できるようにつなげる

### 独居で家族が県外在住のCさん

NPA-や近所の方の援助で一人暮らしを継続できているが、心疾患を抱えているので入退院をくりかえしている  
息子：自分の近くの施設に入れたい  
本人：知らない人との生活は不安で少しでも自宅にいたい



本人：もう少し家で頑張りたい でも、夜1人は不安なのでこっちで施設を考えたい  
息子：本人の思いを知らなかった 一緒に話せてよかった 本人の気持ちを大事にしたい  
\* 話し合い後入院しその後地元の施設入所

### ほとんど話のできない寝たきりDさん

寝たきりで会話もできず口から食事摂取が困難となり、末梢からの点滴も難しい状態  
本人：会話可能時胃瘻はしたくないと言っていた  
娘：最期まで口から食事をとらせたい 点滴はできるならしてやってほしい



娘：無理に食べさせることもかわいそう 食べられなくなったらそのままでも、何もしいのは後悔しそうなので1回は点滴してほしい  
\* 経口摂取が全くできなくなり、1度点滴実施その後自宅で永眠